

科目	ゼミナールⅡ(H)	担当	鈴木 愛一郎	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

前期(ゼミナールⅠ)に引き続いて、財務会計とコーポレートファイナンスの基礎を学ぶことが目標である。演習は各人の設定したテーマに基づく事例研究が中心となるが、テーマの調整や修正も十分に時間をかけて検討する。

テーマが決まった後は、可能な限りさまざまな具体例の検討を行う。そうした流れを通じて、財務分析の基本スキルを身につける。分析・研究の成果はプレゼンテーションを通して発表するが、前期で行った発表の反省点を踏まえ、より高いレベルからの研究・分析ができるように指導する。併せて、後半は、卒論の作成を視野に入れた指導も行う。

【履修注意】

他の人の発表を観察・批評をすることで多くを得ることができる。積極的な参加を期待する。

【評価方法】

出席(40%)、発表(30%)、発言・コメント(30%)。とくに他の人の発表に対するコメントを重視する。無断欠席は6回で不合格。20分以上の遅刻は欠席扱い。30分までの遅刻を2回することで欠席1回とカウントする。

【試験について】

筆記試験は実施しない。

【予習・復習】

適宜、復習課題を課す。

【教科書】

購入教科書なし

【参考書】

参考書の指定なし

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	ゼミの進め方について、就職、職業選択
2	将来の方向性を考える1	働くことの意味、スキル醸成、資質
3	将来の方向性を考える2	コミュニケーション能力、文章の書き方、プレゼンテーション
4	テーマを考える1	自己分析とテーマの設定、企業のタイプ、将来展望
5	テーマを考える2	研究領域、課題把握、問題提起
6	発表1	課題意識、研究主題、焦点設定
7	発表2	発表内容整理、プレゼンテーション力、コミュニケーション力
8	まとめ	1-7回をもとにテーマの調整、修正、検討
9	発表3	先行研究の収集、読解、考察
10	発表4	分類と保存、要約と拡張、判断と予測
11	発表5	全体と部分、予測と判断、統合と分散
12	卒業論文について1	実証分析、フィールドワーク、仮説構築
13	卒業論文について2	仮説検証、副産物処理、普遍化
14	卒業論文について3	定義化、体系化、分類方法
15	卒業論文について4	解釈、処理、配置
16	期末まとめ	総復習・確認・総まとめ